一誌一句（受贈誌１・２月号他より）

米田　透　抄出

火の色の冬蝶として母港へと　（雲　取）　鈴木　太郎
広げたるイラストマップ黄落す　（　縹　）　花房八重子
初空の白雲に我が未来あり　（百　鳥）　大串　章
嬉しくて親を仰ぎし七五三　（　森　）　森野　稔
さながらに楷書のごとし松手入　（春　塘）　清水　和代
永遠の山と川あり大旦　（雑　草）　実籾　繁
朝な朝な富士を讃ふる冬ごもり　（　燎　）　蔵多得三郎
薬缶より水飲む庭師雪ばんば　（きたごち）　柏原　眠雨
上空に鳶を置くのみ大雪原　（たかんな）　吉田千嘉子
二本目の熱燗正義を振りかざす　（天籟通信）　福本　弘明